

昆虫のようすと周辺の環境から動物と植物の関わり合いを考える

第3学年 教科「動物のすみかをしらべよう」 学習アプリ「ロイロノート」

●単元の目標

身の回りの生物の様子やその周辺の環境について興味・関心をもって追及する活動を通して、身の周りの生物の様子やその周辺の環境との関わりを比較する能力を育てるとともに、それらについての理解を図り、生物を愛護する態度を育て、身の回りの生物の様子やその周辺の環境との関係について見方や考え方もつことができるようにする。

自然事象への関心・意欲・態度

- ・身の回りの動物のようすに興味・関心をもち、進んで活動のようすやその周辺との関係を調べようとしている。
- ・身の回りの生き物に愛情をもって関わったり、生態系の維持に配慮したりしようとしている。

科学的な思考・表現

- ・身の回りの動物のようすやその周辺の環境との関わりを比較して、差異点や共通点を考察し、自分の考えを表現している。

観察・実験の技能

- ・身の回りの動物のようすやその周辺の環境を観察し、その過程や結果を記録しようとしている。

自然事象についての知識・理解

- ・生き物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。

●めあて

どうして〇〇（動物）が△△（場所）にいたのか説明してみよう。」

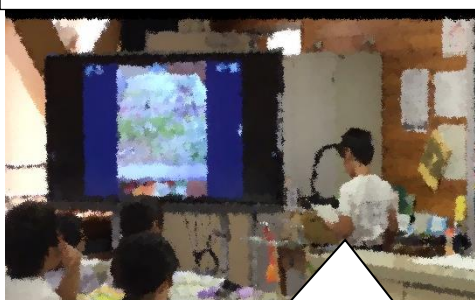
●学習の様子

絵の中に昆虫がいそうな場所にシールを貼る。



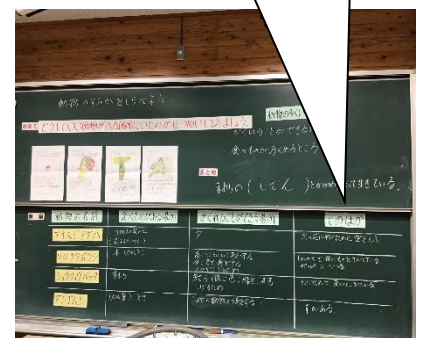
木だけじゃないな。草むらにもいるぞ。

電子黒板を使って自分の考えを発表する。



ぼくは、みんなの考えとちがって、せみは木の中に卵を産んでいると思います。

表の中に「食べもののある場所」や「かくれる場所」だけでなく、「その他」の欄を設けることで考えるための視点を広げた。



●児童の振り返り

- ・昆虫によって食べものがある場所や、かくれることのできる場所以外に、命をつなげるために生活しているものがあることがわかった。
- ・絵を写真にとってお友達に見せられたのがよかった。そして、友達との絵のちがいがわかった。

●授業を通して

○電子黒板に子どもたちの考えを映し出せたことは、比較することに役立てることができた。

▲27人が考えた絵を電子黒板に写したが、一人ひとりの絵が小さく子どもたち側から見づらかった。友達との差異点を見つける作業をする活動は班での話し合いがよいと感じた。